

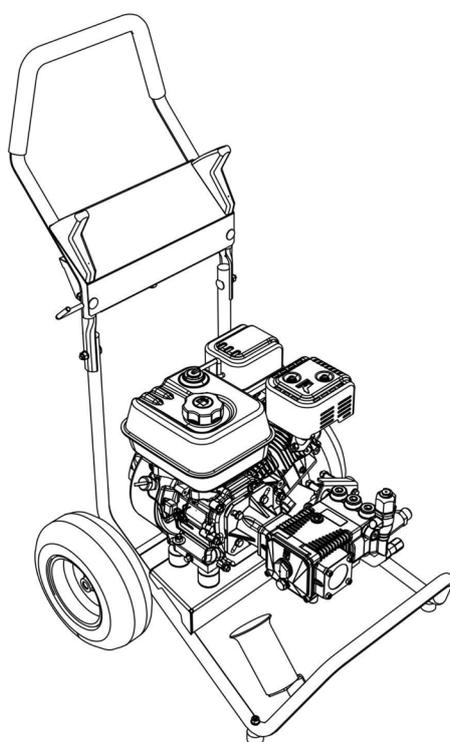
# KÄRCHER

## 業務用高圧洗浄機

### 取扱説明書

#### HD 6/12 G

#### HD 6/15 G



EASY!Lock

1 x 360°

※この商品は別途水道ホースセットが必要です。(19ページ参照)

この度は業務用高圧洗浄機をお買い上げいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前に取扱説明書を良くお読みいただき、正しく安全にご使用ください。  
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。



**注意**

慣らし運転を行うこと

＜初めてもしくは長期保管後に使用する場合＞

必ずエンジンの慣らし運転を約2分間行ってください。

慣らし運転を行わない場合、エンジンが損傷します。

HD 6\_12 6\_15 G EASY!Lock

5.967-348.0 202104

# 目次

---

1	安全上の注意	3 ~ 13
2	各部名称	14 ~ 15
3	仕様	16
4	本機の手扱いについて	17 ~ 18
5	準備	19
	1) 組み立て	20 ~ 21
	2) 燃料の補給とオイルの点検	22
	3) 接続	23 ~ 25
6	貯め水を使用する場合	26 ~ 27
7	エンジンの始動	28 ~ 29
8	洗浄	30
9	洗浄が終わったら	31
10	メンテナンス	
	1) フィルター	32 ~ 33
	2) エンジン	34 ~ 35
	3) スパークアレスター	36
	4) エアクリーナー	36
	5) 高圧ポンプ	37
11	保管・移動	38 ~ 39
12	トラブル対応	40 ~ 42
13	ユーザー登録・保証	43 ~ 44
14	お問い合わせ先	45
15	修理	46
16	アクセサリーの取り付けについて	47 ~ 48
17	補修部品	49

---

# 1 安全上の注意

◎ご使用前に必ずお読みください。

## 絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

製品を使用する前に取扱説明書を読んでください。次の安全上の項目に特に注意してください。本体に貼られている安全に使用するための重要な取扱説明を守ってください。思わぬ事故を防止するため、この取扱説明書に含まれている内容の他に、一般的な安全上の規定を守ってください。

高圧洗浄機は正しく使用しないと危険な場合があります。高圧水は人、動物、通電中の電気製品、あるいは洗浄機自体に向けないでください。この機械は飲料水の配管に絶対に直接接続しないでください。この機械を通った水道水は飲料不適です。この機械の表面は熱くなっている場合があります。火傷に注意してください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



**注意**

**洗浄は自己責任にて行ってください**

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

## ご使用時の警告



安全と健康への影響を確かめる為、洗浄の前に危険性について洗浄対象面を確かめること  
確かめた結果を基に必要な保護を行ってください。

作業者は機械を正しく使用すること  
機械を使用する場合は作業者は周囲に気を配り、他に人がいる場合、特に子供がいる場合は、十分注意してください。

引火性物質を吸引、噴霧しないこと  
灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料など油性の液体や薬品などの液体は吸わせないでください。爆発や火災の原因になります。

溶剤、希釈されていない酸あるいは溶剤を含む液体は絶対に吸引しないこと  
ガソリン、シンナー、アセトンあるいは灯油がこれに含まれます。これらを含む高圧水は非常に引火しやすく爆発性が高く毒性があります。本体の部品を痛める恐れがありますので、希釈していない酸や溶剤を使用しないでください。

酸性・アルカリ性洗剤、農薬、消毒液などを使用しないこと  
機械の故障の原因となります。

健康に害のある物質を高圧水で噴射しないこと

可燃性のある物を近くに置かないこと  
紙くず、木くず、油脂類、石油製品、火薬などの危険物を近づけないでください。火災や爆発の原因となります。



機械は、取扱いの説明を受けた人、機械の使用について十分知識のあることが確認できる人、機械の取扱いを明確に業務とする人が使用すること。機械は、子供、青少年、あるいは取扱いの説明を受けていない人は使用しないでください。

## ご使用時の警告



機械をガソリンスタンドのような危険な区域で使用する場合、定められた安全上の注意を守ってください。  
危険性のある場所ではこの機械は使用しないでください。

子供には触らせないこと  
けがをする場合があります。  
また事故、機械の損傷の原因となる場合があります。



人体に向けて使用しないこと  
近距離で皮膚、眼球、耳などに高圧水をかけないでください。  
皮膚の裂傷、失明、難聴になる場合があります。

高圧水を衣服や靴の洗浄の為に人に向けないこと

飲酒時には使用しないこと  
運転を誤ると重大な事故や怪我を生じる恐れがあります。  
飲酒時は運転しないでください。

運転中に燃料を補給しないこと  
燃料がこぼれ、引火する恐れがあります。  
燃料の補給は必ずエンジンを停止して、換気の良い場所で行なってください。



耳の保護具を使用すること  
洗浄の際の水や泥等の跳ねかえりによる怪我を防止するために  
保護服や保護メガネを着用すること。

機械を使用する場合は、常に保護手袋を着用すること

洗浄作業を行なう場所では電導性のある装置を高圧水から保護  
すること

水道については水道管理者の使用上の注意を確認すること。

## ご使用時の警告



### 火気を近づけないこと

燃料を補給する際や燃料タンクの付近ではタバコを吸ったり炎や花火などの火気を近づけないこと。爆発や火災の原因になります。

### 改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。

アクセサリ、補修部品、ケルヒャー純正の部品アクセサリ以外を使用しないでください。

機能を十分に発揮しない場合が生じ思わぬ事故のもとになることがあります。



修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと  
個人の修理は事故のもとになるおそれがあります。

ポンプ保護の為、5分以上洗浄作業を行わない場合は、エンジンを切ること

エンジンをかけたまま放置すると、ポンプが高温になり故障の原因となります。



### エンジンの上部に物を置かないこと

運転中も運転していない時にもエンジンには物を置かないでください。  
火災の原因や変形などによる思わぬ事故の原因となります。

### 屋内、通気の悪い場所で使用しないこと

一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。



### ならし運転を行うこと

初めてもしくは長期保管後に使用する場合

エンジン内部にオイルが行き届く前に高速運転をおこなうとエンジンが壊れる場合があります。必ずならし運転を約2分間行ってください。

## ご使用時の警告



安定した水平な場所で運転すること  
機械が倒れ、火災や思わぬ事故の原因となります。

換気の良い場所で使用すること  
換気の悪い場所（室内、車内、倉庫、トンネル、井戸、船倉など）で使用した場合一酸化炭素中毒の原因となります。  
必ず換気の良い場所で使用してください。

機械が動いている場合は、機械から離れないこと

作業を中断・終了する場合は必ずトリガーガンの安全ロックをロックすること  
誤って高圧水が噴射され、思わぬ事故が生じる場合があります。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること  
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

機械を移動する際は本体を傾けたり倒したりしないこと  
残ったガソリンが漏れ出したり、エンジンオイルが逆流し、エンジンが故障します。  
移動中は機械の重量に注意してください。怪我や損傷の恐れがあります。



## エンジンについての警告



### 周囲の状況を十分確認して使用すること

排気口を閉じないでください。

吸気口の近くに排気が流れないことを確認してください。

燃料が漏れている場合は機械を使用しないでください。

機械を移動し、スパークが出ないように注意して下さい。

裸火のそば、オープン、ポイラー、給湯器等の点火装置やスパークを発生する機器の近くで燃料を保管したりこぼしたりしないでください。

消音器の近くに（目安は2m）可燃性の物や材料を置かないでください。

消音器を外した状態でエンジンをかけないで下さい。定期的に消音器を点検、清掃、必要に応じ交換してください。

森林や藪、あるいは草地ではエンジンを使用しないでください。

### エンジンの作動に十分注意すること

エンジンの調整作業を除き、エアフィルターを外したりフィルターユニットにカバーの無い状態でエンジンをかけないでください。

エンジンスピードを上げるような部品の改造調整は行わないでください。

レギュレータースプリング、レギュレーターバー等

作動、あるいは回転する部品に手足や衣服が触れないようにしてください。

中毒を防止するため、機械は閉じた部屋の中では使用しないでください。

排気管を覗いたり触れたりしないでください。

### 燃料は所定のレベルを超えないように補給すること

万一燃料がこぼれた場合には、きれいにふき取りよく乾かしてからエンジンを始動してください。

燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。

タンクの最大位置より多く入れないでください。



## エンジンについての警告



### エンジンや燃料の取扱いには十分注意すること

このエンジンは子供、少年あるいは取扱いの説明を受けていない人は使用しないで下さい。このエンジンに子供を近づけないでください。

このエンジンは引火性の雰囲気で使用しないでください。

エンジンが危険な場所（ガソリンスタンド等）で使われる場合適用される安全基準を守ってください。

閉じられた部屋でエンジンを使用する場合

適切な換気がされているか、あるいは十分排気ガスの処理がされるか確認してください。一酸化炭素中毒の恐れがあります。

排気ガスは有毒で人体に害があります。吸い込まないでください。

取扱説明書に記載されている燃料のみを使用してください。

不適切な燃料を使用した場合爆発の危険があります。

燃料は規定に従って保管してください。

燃料を給油したり保管したりする時に煙草を吸ったり、裸火を使わないでください。

燃料はエンジンを切り、換気の十分な場所で給油してください。

ガソリンは火事の危険があり、一定の条件で爆発の危険があります。

給油後はタンクの蓋が完全に閉まっていることを確認してください。

燃料が皮膚に長時間触れたり、吸い込んだりすることを避けてください。



## エンジンについての警告



### エンジンの取り扱いとメンテナンス

メンテナンスを行わないと、故障の原因となります。また、メンテナンスは必ずエンジン本体・マフラーが冷めている際に行なってください。給油の前に2分間以上エンジンを冷ましてください。

室内に保管する前にエンジンを十分冷やしてください。

エンジン回転中に点火ケーブル、点火プラグに触れないでください。

エンジンにはメーカー純正品のみを使用してください。

他の部品はエンジンを損傷し寿命を短くする可能性があります。

新鮮な燃料のみを使用してください。古い燃料は劣化してキャブレター内にカスとなって蓄積し、エンジン性能に影響を及ぼします。

スターターの故障を防止するため、エンジンが回転中にスターターロープを引かないでください。

運転中や停止直後にはエンジン本体やマフラーなどに触れないことやけどの恐れがあります。

また、高圧ホースが高温部分に触れると溶ける恐れがありますので、ご注意ください。

火傷を防止する為、消音器、エンジン本体、あるいはラジエーターに触れないでください。



## ガソリンについての警告



### ガソリンを取り扱う場合

- エンジンを停止すること
- 火気を近づけないこと
- 衣服で帯電した静電気を除去すること
- ガソリンはこぼさないこと
- ガソリントankに規定以上に入れすぎないこと
- 水平な場所で使用すること
- 密閉された場所で使用しないこと
- 無鉛ガソリンを使用すること
- 変質ガソリンは使用しないこと

## 注意



本体、エンジンに水をかけないこと  
故障の原因となります。

ノズルの動作を止めて同じ部分を洗浄しないこと  
高圧水により対象物が損傷する場合があります。

他機種 of ノズルを兼用しないこと  
(オプションアクセサリーを除く)  
故障の原因となります。

シートなどを本体に被せて使用しないこと  
発火もしくはエンジンが壊れます。



自家水道で井戸水などを使用する場合は別売りのフィルターを使用すること  
異物の混入を防ぐためにご使用ください。

自吸をする場合は別売りのサクションホースセットを使用すること  
使用しない場合水道ホースが潰れポンプの損傷の原因となります。  
フィルターも併用してください。

洗浄を行う場合には事前にテストを行うこと  
洗浄対象物の状態を確認するために洗浄テストを行ってください。  
テストを行わずに使用した場合、塗装面や素材が損傷する場合があります。

短いスプレーランスを使用した場合、手足が高圧水に偶然当たり怪我をしてしまう恐れがあります。スプレーランスが75cmより短い場合、0度のノズルやサイクロンジェットノズルを使用しないでください。

## 注意



### 洗浄対象物に適した距離で洗浄を行うこと

ノズルを近づけすぎた場合、高圧水により対象物が損傷する恐れがあります。

自動車のタイヤやタイヤバルブには30cm以上近づけて洗浄しないでください。近づけると自動車のタイヤやタイヤのバルブを損傷する恐れがあります。

### 周囲の安全に気を配って使用すること

水を出す瞬間反動があります。周囲に気を配りトリガーガンをしっかり握ってください。

### 給水温度は60℃まで

60℃以上の水を給水した場合、ポンプの故障の原因となります。  
温度調節器がある場合は30℃未満に設定することをお勧めします。  
(設定を30℃以上にすると、60℃以上の水が給水される場合があります。)

### 純正洗剤を使用すること（本機での吸引は出来ません）

必ず高圧洗浄機用洗剤をご使用ください。純正洗剤以外を使用し生じた故障は保証の対象になりませんのでご注意ください。

機械とアクセサリーは使用の前に正しく取り付けられているか、安全に使用できるか確認するため、点検してください。もし、接続部品や機械の重要な部品、例えば、安全装置、高圧ホース、トリガーガン、が破損していたら、機械を使用しないでください。

### ノズルの取り替え時はトリガーガンの安全ロックをかけること

トリガーガンの安全ロックが解除されている状態でノズルを交換すると、誤ってレバーを握り思わぬケガを引き起こす場合があります。

高圧水がノズルから出る場合には反力が働きます。

先端が下に曲がっている場合、上向きの力が働きます。

トリガーガンとスプレーランスをしっかり保持してください。

## 注意



### 高圧ホースの取り付け

- 使用前に高圧ホースのナット部分に緩みがないか確認してください。
- 使用中もしくは圧力がかかった状態で高圧ホースのナット部分を無理に回さないでください。思わぬケガや火傷を生じる恐れがあります。

### 高圧ホースの取扱いは注意すること

高圧ホースに異常（深い傷や折れ曲がりなど）がある場合は使用しないでください。

高圧ホースは、折らないでください。破損の原因となります。

作業を行う前に、高圧ホースはまっすぐに伸ばしご使用ください。

必ず純正高圧ホースをご使用ください。

ホース接続部のネジ等が緩み、水が漏れていないことを確認してください。

他社製品を使用した状態での事故、損傷についての苦情はお受けできません。

摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利・砕石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合は、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。高圧ホースは傷つけないでください。

高圧ホースに傷がある場合は直ちに交換してください。

ケルチャー推奨のホースと接続部品を御使用ください。

本体または高圧ホースが異常に振動していると感じた場合は使用を中止し点検を依頼してください。

トリガーガンの操作レバーは使用中に固定しないでください。

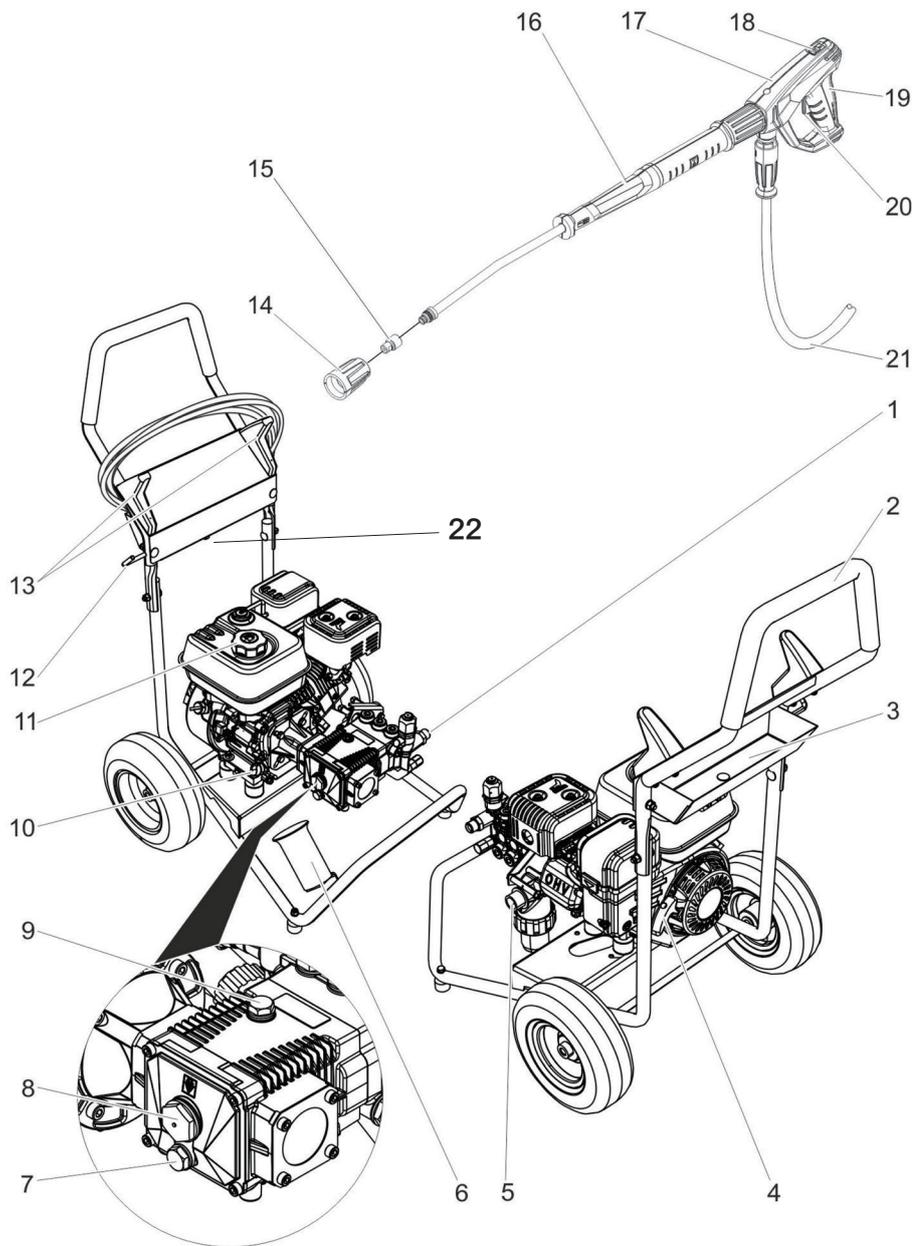
誤って自分や周囲の人が高圧水によりケガをする恐れがあります。

### 本体は大切に扱うこと

ホース類を無理に引っ張ったり、本体を落下させたりしないようにしてください。本体が損傷します。

## 2 各部名称

◎付属品が揃っていることをご確認ください。



- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 高圧ホース接続口            | 11 燃料タンク        |
| 2 ハンドル                | 12 トリガーガンホルダー   |
| 3 アクセサリー収納スペース        | 13 高圧ホースホルダー    |
| 4 リコイルスターター           | 14 ノズルチップ固定ホルダー |
| 5 水道ホース接続口<br>給水フィルター | 15 ノズルチップ       |
| 6 スプレーランスホルダー         | 16 スプレーランス      |
| 7 ドレインプラグ             | 17 トリガーガン       |
| 8 オイルゲージ              | 18 安全ロック        |
| 9 ギアオイルキャップ           | 19 トリガー         |
| 10 オイルドレインボルト         | 20 安全レバー        |
|                       | 21 高圧ホース        |
|                       | 22 アクセサリーホルダー   |

	<p>ハンドル 1個 ボルト 2個 ワッシャー 2個 ナット 2個</p>		<p>タイヤ 2個 タイヤ固定 リング 2個 六角レンチ 1本</p>
	<p>給水パーツ (ナット ホースシステム) 一式</p>		
	<p>インチ変換 アダプター ※ HD6/12G のみ付属 注文番号： 9.761-497.0</p>		<p>プラグレンチ 一式</p>



アクセサリホルダー（22）には、サイクロンジェットノズル（別売り）などを固定出来ます。

※仕様変更により商品の形状が図と一致しない場合があります。

※黄色い部品はお客様が清掃時に操作する部分です。

※ホース・コード類の長さに関して、実寸を±5%の範囲で設定しております。

### 3 仕様

HD 6/12 G 製品仕様	
動力（エンジンタイプ）	Loncin G200 FA（ガソリン）
エンジン最大出力	4.1 kW
燃料タンク容量	3.6 L
燃料消費量	0.91 L/h
吐出水量	600 L/h
吐出圧力	12 MPa
ノズルサイズ	042
自吸高さ 高低差	1 m
給水可能最高温度	60 °C
騒音値	103 dB
長さ×幅×高さ	799 × 637 × 1,097 mm
質量	44.7 kg

HD 6/15 G 製品仕様	
動力（エンジンタイプ）	Loncin G200 FA（ガソリン）
エンジン最大出力	4.1 kW
燃料タンク容量	3.6 L
燃料消費量	0.91 L/h
吐出水量	600 L/h
吐出圧力	15 MPa
ノズルサイズ	038
自吸高さ 高低差	1 m
給水可能最高温度	60 °C
騒音値	103 dB
長さ×幅×高さ	799 × 637 × 1,097 mm
質量	44.7 kg

$$1 \text{ MPa} = 10.2 \text{ kg f} / \text{cm}^2$$

ポンプ・ギアオイル 型式 オイル量	注文番号：6.288-050.0（1.0 L） 15 W 40 0.4 L
エンジンオイル 型式 オイル量	注文番号：9.548-110.0（20 L） SAE10 W 30 0.6 L

## 4 本機の取り扱いについて

---

### ■正しい取扱い

高圧洗浄機は、高圧水を利用して洗浄剤を使わずに洗浄する為に使用します。頑固な汚れには、サイクロンジェットノズルの御使用をお勧めします。

### ■危険

事故や怪我を防止するため、ガソリンスタンドやその他の危険な場所で使用する場合は、規定の安全基準を守ってください。

オイル等の混ざった汚水が土壌、上水道、下水道に接しないようにしてください。  
エンジンの洗浄や下部洗浄はオイルトラップのある場所で行ってください。

### ■使用できる水質基準

<注意>

清水を使用してください。不純物が混ざると消耗や摩耗が早く進みメンテナンスの頻度増加、あるいは機械の故障に繋がります。

地下水やリサイクル水を使用する場合は機械の故障や短期間の消耗を防止するため、微少な汚れが混ざらないようフィルターを通した水を使用してください。

### ■安全装置

安全装置は使用者を守るために設けられており、使用中に弱められたり機能をバイパスしたりしないでください。

#### • 安全ロック

トリガーガンの安全ロックはレバーの操作を出来なくし、不意に機械が作動することを防ぎます。

#### • オーバーフローバルブ

トリガーガンが閉じられた時、オーバーフローバルブが開いて高圧水がポンプの吸引側に戻ります。オーバーフローバルブは製造工場では調整され固定されています。調整はサービスエンジニアのみ実施します。

#### • 安全バルブ

安全バルブやオーバーフローバルブが故障した時に作動します。安全バルブは製造工場では調整され固定されています。調整はサービスエンジニアのみ実施します。

#### • サーモスタットバルブ

サーモスタットバルブは高圧ポンプが過剰な高温となることを防止します。

---

## ■環境保護

梱包材はリサイクル可能です。

梱包材を通常の廃棄物とせず、適切にリサイクルしてください。

機械はリサイクル可能な材料を含んでいます。これらをリサイクル品として取り扱ってください。バッテリー、オイル等は環境中に排出しないでください。

使用済の機械は適切な処理をお願いします。

エンジンオイル、ガソリン、灯油軽油等を流さないでください。地面に流さないように使用済の油脂類を環境を保護するよう適切に処理してください。

## ■開梱

輸送事故があった場合は直ちに連絡してください。

## 5 準備

---

### 始める前に確認しましょう

#### ●水道水を使用する場合

水道ホースは、7.5m以上の長さのもので、内径 18 mm以上のホースを別途ご用意ください。

- 水道ホース                      注文番号：6.390-492.0  
（長さ 7.5 m、内径 18 mm、ホースバンド付）

※水道ホースは市販の耐圧ホース、内径 18 mmで代用できます。

#### ●貯め水を使用する場合

タンクやバケツなどの貯め水を吸い上げて使用する場合は下記の商品を別途ご用意ください。

##### < HD 6/12 G 用 >

- HD 6/12 G 用自給ホース      3.0m  
    注文番号：9.548-030.0



##### < HD 6/15 G 用 >

- サクションホース              7.5m  
    注文番号：4.440-270.0



- 粗ゴミ用フィルター  
    注文番号：4.730-012.0  
    （自吸用ホース先端取り付け用 逆支弁付）



## 1) 組み立て

---



準備の際にケガをしないように作業用手袋をはめてください。



### <ハンドルの取り付け>

本体の左右のパイプにハンドルを挿入してください。



ハンドルをボルト、ワッシャー及びナットで固定してください。



工具を使用し、しっかり取り付けてください。

反対側のハンドルも同様に取り付けます。



### <タイヤの取り付け>

タイヤのバルブを外側にして、本体から出ている軸にタイヤを挿入してください。



しっかり奥まで挿し込んでください。



本体にタイヤを取り付ける際は、本体を上下逆さまにしたり、前後左右に倒したりしないでください。



タイヤの外側からタイヤ固定リングを挿入しネジをしっかりと締めてください。

反対側のタイヤも同様に取り付けます。



付属の六角レンチでしっかりと締め付け固定してください。



締め付けが緩いと、移動時や作業中にタイヤが外れ、事故につながる可能性がありますので、ご注意ください。

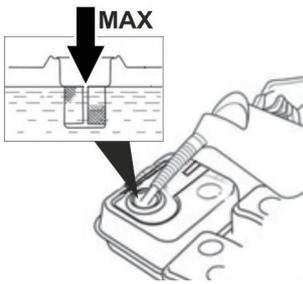
## 2) 燃料の補給とオイルの点検



注意

- 火気を近づけないこと
- 必ずエンジンを停止し、エンジン本体・マフラーが冷めてから行うこと
- 換気の良い場所で行うこと
- 安定した水平な場所で行うこと
- 燃料、オイルの点検は使用ごとに必ず行うこと

給油限界位置



### ＜燃料の給油＞

燃料タンクの蓋を開けてください。  
燃料を補給して下さい。最大給油位置はフィルターの赤い目盛の肩のところまでです。

ガソリンを適正量補給してください。  
給油キャップをしっかりと閉めてください。



注意

- 燃料はこぼさないように補給すること。万一燃料がこぼれた場合には、きれいにふき取りよく乾かしてください。
- 燃料は注入口の口元まで入れずに、給油限界位置を超えないように補給すること
- 無鉛ガソリン以外は使用しないこと
- 変質したガソリン、長期間保管したガソリンは使用しないこと
- 汚れや水がタンク内に入らないようにすること
- 古いガソリンを使用しないこと
- ガソリンとオイルを混ぜないこと

### ＜オイルの点検＞

オイルキャップを外し、注入口の口元までオイルがあるか点検してください。オイルレベルがオイルゲージの真ん中にあることを確認してください。

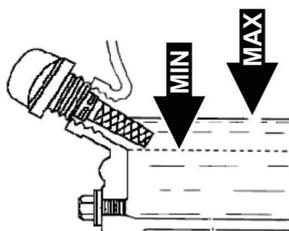
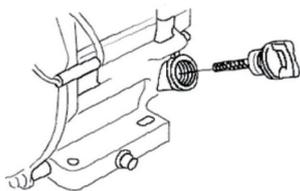
オイルが不足している場合には注入口の口元まで補充してください。

汚れや変色が著しい場合は交換してください。

(34ページ参照)

エンジンオイル量

0.6 L



### 3) 接続



注意

- 高圧ホースの取り付けに緩みがないことを確認してください。
- 高圧洗浄機の電源を切って作業してください。
- トリガーガンのレバーを握らずに操作してください。

#### <高圧ホースの接続>

##### ■ 本体側

高圧ホースのOリングに脱落、損傷がないことを確認し高圧ホース接続口に接続してください。約1～2回転で固定します。



##### ■ ガン側

① トリガーガンの高圧ホース差し込み口に高圧ホースを差し込んでください。

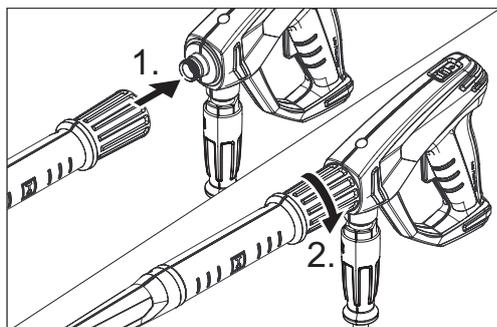


② 高圧ホース端部のナットを止まるまで回してください。約1.5回転で固定します。

高圧ホース端部のナットを緩みがないよう、しっかりねじ込んでください。

##### ■ 高圧ホースを長くしたい場合

別売の延長高圧ホース（10m / 20m）と接続カップリングをご使用ください。



#### <スプレーランスの接続>

1. トリガーガンにスプレーランスを差し込みます。

2. スプレーランスの端部（ナット）を止まるまで回してください。約1回転で固定されます。



安全ロックを前方にスライドし、トリガーをロックしてください。

トリガー



### <ノズルチップの取り付け>

スプレーランスノズル挿入部位のOリングに損傷がないか確認してください。

※口径の大きい方が洗浄剤散布用(低圧)ノズルです。



ノズルチップの側面切欠き位置により高圧広角水流の向きが変わります。

ノズルチップの水流を洗浄方法に合わせた後、ノズルホルダーで固定してください。



ノズルホルダーを回し、固定してください。

約1回転で固定出来ます。

ノズルホルダー

ノズルチップ



### ＜給水ホースの取り付け＞

ホースニップルをホースバンドで給水ホースに取り付けます。



ドライバーでしっかり締めてください。



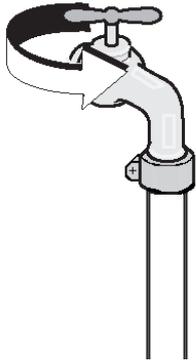
給水ホースを本体に取り付けます。



### ＜1 インチ⇒3/4 インチ変換アダプターの取り付け＞

HD 6/12 G をご使用の場合で、3/4 インチのホースニップルをお使いの場合は、付属のインチ変換アダプターを取り付けてください。

インチ変換アダプター品番  
2.643-100.0



水道栓を開けます。  
水道栓を全開にしてください。

準備が整いました。



給水ホースは 7.5 m以上の長さのもので内径 18 mm以上のものを使用してください。

## 6 貯め水を使用する場合



- 自吸を行うための部材を別途ご購入ください。
- 吸い上げできる水面との高低差は 1m 以内です。
- 呼び水（ホース内部に水を入れる）は必ず行なってください。呼び水をしないで使用すると故障の原因となります。
- 水道水を通すなどして、ポンプ内の空気を最初に抜いてください。



- 爆発や有毒の恐れ。シンナー、ガソリンやオイルなどの溶剤を含む液体を吸引しないでください。これらの霧は非常に着火しやすく、爆発の恐れがあります。
- 機器の故障の恐れ。粗ゴミ除去や小さな異物除去用のフィルターを介さないで水を吸引しないでください。

タンクやバケツなどの貯め水を吸い上げて使用する場合は下記の商品を別途ご用意ください。

< HD 6/12 G 用 >

- HD 6/12 G 用自給ホース 3.0m  
注文番号：9.548-030.0



< HD 6/15 G 用 >

- サクションホース 7.5m  
注文番号：4.440-270.0



- 粗ゴミ用フィルター  
注文番号：4.730-012.0  
(自吸用ホース先端取り付け用 逆支弁付)



サクションホースに呼び水をしてください。

サクションホースを本体給水口に取り付けてください。

「洗浄」の手順で洗浄を行なってください。



- 海水を使用して洗浄した場合は、水道水を使用して2、3分  
スプレーランス先から水を噴射しポンプを濯いでください。
- 必ずノズルを外してから水を吸い上げてください。

## 7 エンジンの始動



初めてもしくは長期保管後に使用する場合は

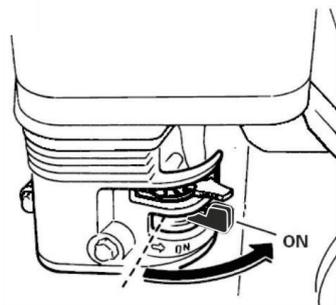
必ずならし運転を行ってください。

エンジン内部にオイルが行き届く前に高速運転を行うとエンジンが壊れる場合があります。



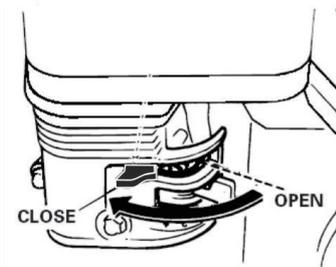
注意

- 使用開始前に、エンジンのオイルや燃料の漏れを点検してください。
- 機械を平な場所に設置してください。
- エアフィルターの無い状態で絶対にエンジンを掛けしないでください。エンジンの損傷に繋がります。
- エアフィルターに詰まりや汚れが無いか確認してください。汚れに応じフィルターを清掃もしくは交換してください。



＜使用方法＞

燃料コックを開けてください。  
(レバーを右側へスライドします。)



チョークを閉じてください。  
(レバーを左側へスライドします。)

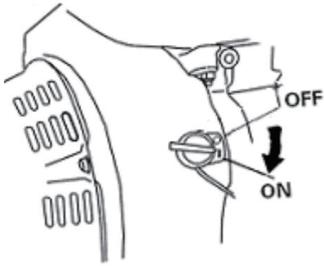


注意 エンジンが温まっている時はチョークを閉じないでください。

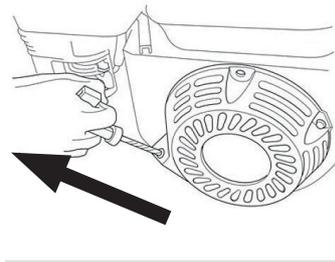


トリガーガンの安全ロックを手前に引きロックを解除します。

エンジンのスイッチをONにしてください。



トリガーガンのレバーを握りながら、リコイルスターターロープを抵抗を感じるまで少し引き、矢印の方向に速く強く引いてください。



スターターロープをやさしく戻してください。スターターロープが戻るとき、はじかれないようにしてください。ハンドルがスターターを損傷する可能性があります。

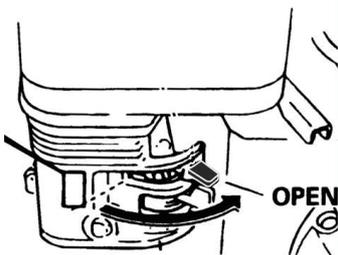
■トリガーガンのレバーを握らずにリコイルスターターを引こうとした場合、引きにくい、または引けないことがあります。



■リコイルスターターはゆっくり戻してください。手を離すと体や部品に接触しケガや損傷を生じます。作業中はリコイルスターターに触れないでください。エンジンが壊れる場合があります。

■エンジンがかかるとトリガーガンから水が吐出しますので、スターターを引く際にはノズルを安全な場所へ向けてください。

エンジンが温まり、回転が安定したらチョークを開いてください。



## 8 洗淨



トリガーガンの安全ロックを解除してください。



警告

作業を中断・終了する際は、必ず安全ロックでレバーをロックし、レバーを握れない状態にすること  
誤って高圧水が噴射され、思わぬ事故につながる可能性があります。高圧水が誤って人体に向けて噴射された場合、死亡または重症を負う可能性があります。



トリガーガンをしっかり持ちトリガーガンのレバーを握ってください。高圧水が出ます。

ポンプ内の空気を抜く方法（エア抜き）

逆止弁あるいはフィルターを使用する場合は、呼び水を行ってください。

エンジンを始動しノズルを外して、吐出水に空気が混ざらなくなるまで、トリガーガンを開けてポンプの空気を抜きます。そのまま10秒位エンジンを回し続けます。この方法を2、3回繰り返します。

エンジンを停止し、ノズルを装着します。



注意

作業中トリガーガンを握らずに放置した場合約10分でポンプが規定温度以上になりサーモスタットバルブが作動し強制冷却を行います。その際にサーモスタットバルブから水が噴出し床が濡れる場合がありますのでご注意ください。

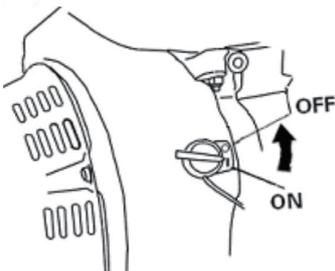
### 作業の中断

トリガーガンのレバーを放します。

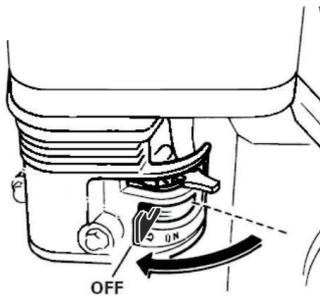
トリガーガンのレバーを放すとエンジンは回転を続けます。この時、ポンプの水は内部で循環し、温度が上昇します。水温が最大許容温度（80℃）に達すると、サーモスタットバルブが開き、温水が排出されます。この時冷水が取り込まれ、ポンプを冷却します。

## 9 洗浄が終わったら

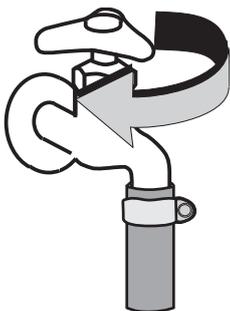
---



エンジンのスイッチをOFFにしてください。  
エンジンが停止します。



燃料コックレバーをOFFにしてください。  
(レバーを左側にスライドします。)



水道栓を締めてください。



トリガーガンのレバーを握りポンプの残留圧力を抜きレバーを放してください。



トリガーガンをロックしてください。  
奥にスライドするとロックします。

## 10 メンテナンス

### 1) フィルター



#### 注意

メンテナンスを行う場合には必ずエンジンを停止すること  
機械の洗浄およびメンテナンス作業の前に、機械を停止してくださ  
い。

機械とアクセサリーのメンテナンス作業の前に機械やアクセサリー  
から圧力を除いてください。

メンテナンス作業はケルヒャーから認定を受けたサービス認定店あ  
るいは必要な安全基準を熟知した洗浄機器のメンテナンス経験者  
によって実施してください。



各フィルターの清掃は、作業終了時に毎回必ず行なってください。



#### <給水口のフィルター清掃>

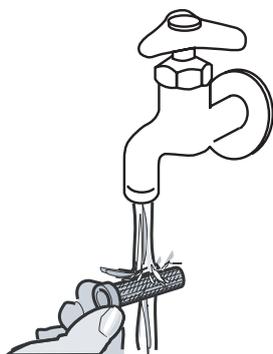
給水口フィルターの留め具を外します。



フィルターカップを外します。



フィルターを取り出し、流水ですすぎ洗いしてください。



フィルターの汚れがひどいもしくは、パッキンが破損している場合は新しいフィルターと交換してください。

## 2) エンジン



### 注意

- 火気を近づけないこと
- 必ずエンジンを停止し、エンジン本体・マフラーが十分に冷めてから行うこと
- 換気の良い場所で行うこと
- 安定した水平な場所で行うこと

### <エンジンオイルの交換>

#### <交換時期>

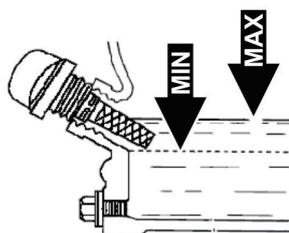
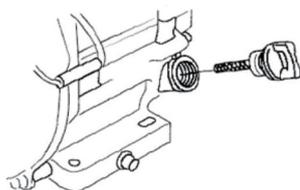
初回 1ヶ月目または5作業時間

2回目以降 6ヶ月毎または50作業時間毎

オイル容量 0.6 L

推奨オイル 9.548-110.0

(SAE10W30)



#### <点検>

オイルレベルが低い場合は、オイルSAE 10W30をオイルプラグネジ穴の上端まで入れてください。

オイルプラグをしっかりと締めてください。レベルゲージ付のオイルプラグを回して抜き、オイルレベルゲージ表面のオイルをふき取ります。

オイルプラグの目盛範囲内にオイルがあることを確認します。

#### <交換>

エンジンオイルの交換はエンジンが温かい時に行ってください。

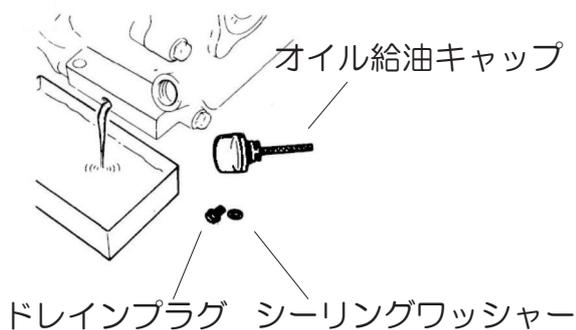
ドレインプラグを緩め、オイルを排出します。

ドレインプラグをしっかりと締めてください。

機械を水平な場所に置きます。

オイルSAE 10W30をオイルプラグネジ穴の上端まで入れてください。オイルプラグをしっかりと締めてください。

オイルプラグの目盛範囲内にオイルがあることを確認します。





- オイルは定期的に点検、交換すること
- オイル給油キャップは確実に締め付けること
- オイルを廃棄する際には、各自治体の規定に従うこと



プラグレンチ

### < 点火プラグの点検・調整・交換 >

点検・調整時期：1年毎または100作業時間

交換時期：2年毎または250作業時間毎

点火プラグ注文番号：6.491-051.0

(代替用点火プラグ型式：NGK BPR-7ES)



#### 点火プラグの交換

イグニッションケーブルを取り外してください。

点火プラグと周囲をきれいにします。

点火プラグを取り外します。

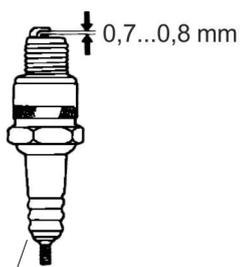
点火プラグが消耗していたり、絶縁材が破損していたら、点火プラグを交換してください。

点火プラグの電極の隙間を点検します。

点火プラグが緩いとエンジンのオーバーヒートが発生し、エンジンを痛めます。

点火プラグを締めすぎるとエンジンのシリンダーヘッドを痛めます。

点火プラグの取り付け時には取付けトルクを確認してください。



点火プラグ

点火プラグを慎重に手で挿入します。ネジ山を噛まないように注意してください。

プラグレンチを使用して点火プラグを取り付け、次のように締め付けます。

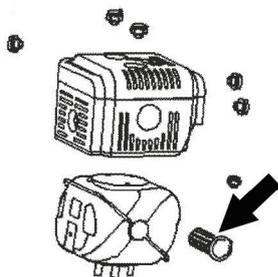
使用済の点火プラグは1/8から1/4回転締めます。

新しい点火プラグは1/2回転締めてください。

イグニッションケーブルを取り付けてください。

### 3) スパークアレスター

#### <スパークアレスター（花火防止装置）の清掃>

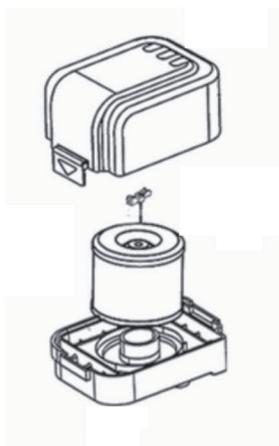


3つの取り付けネジを外します。排気プレートを外します。  
4つのカバー取り付けネジを外します。

マフラーカバーを取り外します。ネジを緩めてください。  
マフラーからスパークアレスターを引き抜いてください。  
ブラシを使ってスパークアレスターの格子を清掃します。  
スパークアレスターに破れや穴が無い点検してください。  
破損している場合は交換してください。  
スパークアレスターを戻し、マフラーを取り付けます。

### 4) エアクリナー

#### <エアクリナーの清掃・交換>



#### <清掃時期>

- 3ヶ月毎または25作業時間毎
- ほこりの多い場所で使用する場合  
⇒毎日点検してください。

#### <交換時期>

2年毎または250作業時間毎に実施してください。  
交換用エアクリナー注文番号：6.491-044.0



エアクリナーを外して使用した場合エンジンが壊れます。

爪

エアクリナーカバー



エアクリナー

#### <エアフィルターの点検>

爪の引っ掛かりを外してエアフィルターのカバーを取り外します。  
汚れたフィルターを清掃あるいは交換します。  
フィルターが破損している場合は交換してください。  
エアフィルターを組付けてください。

---

## 5) 高圧ポンプ

### ■毎日の点検

- 高圧ホースに損傷が無い点検してください。破裂の恐れがあります。損傷がある場合は直ちに交換してください。
- ポンプから水漏れが無い点検してください。ポンプ下からの漏れが1分間に3滴までは問題ありません。ポンプからの水漏れが多い場合はケルヒャーサービスフロントに連絡してください。

### ■毎週の点検

- オイルの量を点検してください。
- オイルが乳化（白濁）している場合は直ちにケルヒャーサービスフロントに連絡してください。

### ■毎月あるいは500時間毎の点検

- オイルを交換してください。

#### <オイルの交換方法>

オイルのタイプおよび使用量については“仕様”（16 ページ）を確認してください。

オイルドレインプラグを緩めてください。オイル皿にオイルを排出してください。

オイルドレインプラグを閉じてください。トルク：20–25Nm。

オイルプラグを取り外してください。

新しいオイルを入れてください。泡がでるようにオイルをゆっくり入れてください。

オイルの量は必ずオイルゲージの真ん中に来るようにしてください。

オイルプラグをしっかりと締めてください。



## 1 1 保管・移動



本体から水が完全に抜かれていないと凍結により破損の恐れがあります。  
本体は凍結しない、ほこりのかからない場所に保管してください。

### 1

#### ポンプの水を抜く

エンジンを切って水道栓を閉め、ノズルを取り外してください。

トリガーガンを握り、ポンプの残留圧力を抜いて、水道ホースを本体から取り外してください。

エンジンをかけ、トリガーガンを再度握り（約 10 秒間）、ポンプの残水を排水してください。エンジンを切ってください。

排水が不完全な状態で凍結した場合ポンプ破損の原因となります。

#### <冬期保管について>

冬季の保管、長期間使用しない場合は、ポンプ内の水を抜いてください。

冬季は凍結しない屋内に保管してください。

凍結しない場所に保管出来ない場合には以下の手順でポンプの残水を抜いた状態で保管してください。

ポンプに市販の凍結防止液を吸引させてください。

注意：通常のグリコール系の凍結防止剤を使用してください。凍結防止剤の取扱説明書に従って使用してください。

ポンプと経路が空になるまで最大 1 分間ポンプを作動させてください。



保管する際には、高圧ホース、水道ホースは本体から取り外してください。

#### 次回使用する場合

スイッチを入れる前に必ず以下の作業を行なってください。

水道ホース、高圧ホースを本体に接続し水道栓を開けてトリガーガンを握り水がスムーズに出ることを確認してください。

トリガーガンを放した後、作業手順に準じ作業を行ってください。



#### 注意

- 凍結した状態でエンジンをかけた場合ポンプが壊れます。
- 排水方法が不完全な場合ポンプが凍結し壊れます。
- ホコリのある場所に保管する場合は給水口にゴミ（細かいホコリ、粉塵など）が入り込まないように保護してください。  
ゴミがポンプ内部に入った場合、圧力が上がらなくなります。

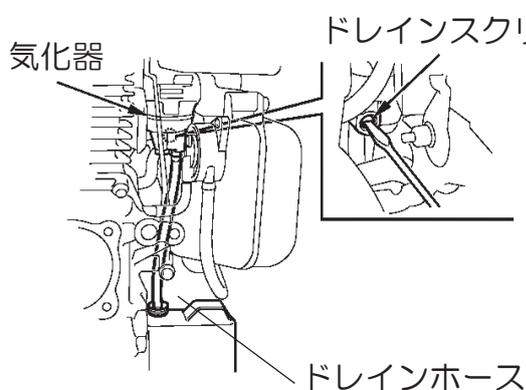
## 2 ガソリンを抜く

1ヶ月以上使用しない場合は燃料タンクとキャブレター内のガソリンを抜いてください。



### 注意

- 火気を近づけないこと。換気の良い場所で行うこと。必ずエンジンを停止し、エンジン本体・マフラーが冷めてから行うこと。安定した水平な場所で行うこと。
- 燃料はこぼさないように抜くこと。万一燃料がこぼれた場合には、きれいにふき取りよく乾かしてください。誤って始動する事を防ぐ為プラグキャップを取り外した状態で行ってください。



燃料タンク内のガソリンを抜きます。容器を別途用意してガソリンを移してください。

キャブレターのガソリンを抜きます。ドレインホースの下に容器を用意しスクリューを緩めてください。ガソリンを抜いた後は、スクリューを締め付けてください。

### <移動・輸送>

ハンドルを使用して機械を移動してください。機械を輸送する場合は車両内で動いたり、転倒したりしないよう車両の取扱説明書に従って固定してください。

注意：移動中は機械の重量に注意してください。怪我や損傷の恐れがあります。

移動中は本体を倒さないでください。残ったガソリンが漏れ出したり、エンジンオイルが逆流し、エンジンが故障します。

### <長期保管時のエンジン防錆方法>

1ヶ月以上保管する場合は燃料を抜いてください。スパークプラグを取り外してください。

5～10ccのエンジンオイルをシリンダーの中に入れてください。

オイルを行き割らせる為にスターターロープを数回引いてください。

スパークプラグをしっかりと取り付けてください。

抵抗が感じられるまでスターターロープを引き、その後ゆっくりと戻してください。

## 12 トラブル対応

このような時	原因	対策
エンジンがかからない！	エンジンのスイッチがOFFになっている。	エンジンのスイッチをONにする。
	燃料のコックが閉じている。	燃料のコックを開ける。
	チョークが開いている。	チョークを引いてからエンジンを始動する。
	ガソリンが入っていない。	ガソリンを補給する。
	エンジンオイルが不足している。	エンジンオイルを補給する。
	スターターをしっかりと引いていない。	スターターをしっかりと引く。
圧力が上がらない！	ノズルが詰まっている。	ノズルのゴミを取り除く、もしくは交換する。
	給水口のフィルターが詰まっている。	フィルターを清掃する。
	本体内に空気が混入している。	ノズルを取り付けない状態でトリガーガンを握り接続口から出る水に泡が混じらなくなるまで運転する。
	十分な水量が供給されていない。	水道栓を全開にする。
	ポンプに漏れや詰まりがある。	サービスフロントに修理を依頼する。
	ノズルが低圧広角ノズルになっている。	高圧ノズルに変更する。
	給水口のアダプターがゆるんでいる。	アダプターを工具で締めなおす。
水がまったく出ない！	水道栓が十分に開かれていない。	水道栓を全開にする。

このような時	原因	対策
ポンプから音がする！ ポンプの振動が大きい！	給水ラインのどこかから漏水している。	漏水している箇所を修理または交換する。
	自吸ホースに穴があいている。	自吸ホースを交換する。
	ポンプに空気が入っている。	ノズルを取り付けない状態でトリガーガンを握り接続口から出る水に泡が混じらなくなるまで運転する。
ポンプ、トリガーガン、高圧ホースから漏水している！	1分間に3滴までは許容範囲内です。さらに大量の漏水の場合はサービスフロントに修理を依頼してください。	
給水系のパイプから漏水している！	ホースが塞がっている。	全ての給水系のパイプを点検してください。
エンジンが不規則に動く！	ノズルが詰まっている。	ノズルのゴミを取り除く、または交換してください。
自吸出来ない！	接続ホースの取付が緩んでいる。	接続部をしっかりと締めてください。
	フィルター取付が緩んでいる。	フィルターのナットをしっかりと締めてください。
	ホース内エアが抜けない。	一旦高圧ホースを外して水が出るまで作動させてください。呼び水（ホース内の空気を抜く）をしてください。
	取水位置が低い。	1 m以内の高低差にしてください。

## 12 トラブル対応（エンジン）

このような時	原因	対策
エンジンがかからない！	燃料が古い、あるいは燃料が不良。	燃料タンクとキャブレターから燃料を排出する。正しい新しい燃料を補給する。
	スパークプラグが減り、電極間の寸法が正しくなくなった。	スパークプラグをきれいにして、プラグ電極の損傷や電極間寸法（ギャップ）の距離を確認する。
	点火プラグが濡れているまたは汚れている。	点火プラグを清掃もしくは新しいものに交換する。
	点火プラグがのすき間が正しくない。	点火プラグのすき間を 0.7 ~ 0.8mm に調整する。
	スパークプラグの電極が故障した。	スパークプラグを交換する。
	スパークプラグが燃料で濡れている。	スパークプラグを乾かして戻す。
エンジン出力が小さい！	エアフィルターが汚れている。	エアフィルターを清掃し、必要に応じ交換する。
	燃料が切れている。	燃料を補給する。
	燃料が古い、あるいは燃料が不良。	燃料タンクとキャブレターから燃料を排出する。正しい新しい燃料を補給する。
圧縮が少ない！ 全くない！（スターターロープを引いても重くない。）	スパークプラグが十分締められていない。	スパークプラグをしっかり締める。

## 13 ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



＜ユーザー登録をいただいたお客さま限定＞  
ご購入日から1年間の保証期間を  
ご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。

### ＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。  
サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。  
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N：××××××の数字がシリアル番号です。

### ＜保証＞

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。  
弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

### ＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント  
TEL：0570-78-3140

#### 登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。  
尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために  
利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。  
当社の個人情報保護の取り組みについては、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイト  
でご覧いただけます。

---

## <シリアル番号確認方法>

修理をご依頼の際は、製品のシリアル番号とエンジンのシリアル番号をお知らせください。製品のシリアル番号は、製品に貼ってあるラベルで、エンジンのシリアル番号は刻印で確認出来ます。



エンジンのシリアル番号  
G200FA  
Txxxxxxxxxx



製品のシリアル番号  
S/N xxxxx

## 14 お問い合わせ先

---

### <サービスフロント>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルチャーサービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00  
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：0570-78-3140

FAX：045-438-1320

## 15 修理

---

修理のご用命は弊社ホームページをご覧ください、  
申し込みフォームからご依頼ください。

[https://www.kaercher.com/jp/service/support\\_pro/repair\\_menu.html](https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html)

この取扱説明書の製品は、「中・大型機」になります。  
弊社支店への持ち込み修理と出張修理サービスが対象です。  
※修理費用については予告なしに変更する事があります

お電話での修理のお問い合わせは  
サービスフロント（修理受付）  
受付時間 9：00～17：00  
月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

TEL：0570-78-3140

## 16 アクセサリーの取り付けについて

EASY!Lock 対応のマシン、アクセサリーに EASY!Lock 非対応のアクセサリーを取り付ける場合は、別途アダプターが必要になります。必要に応じてアダプターをご購入ください。

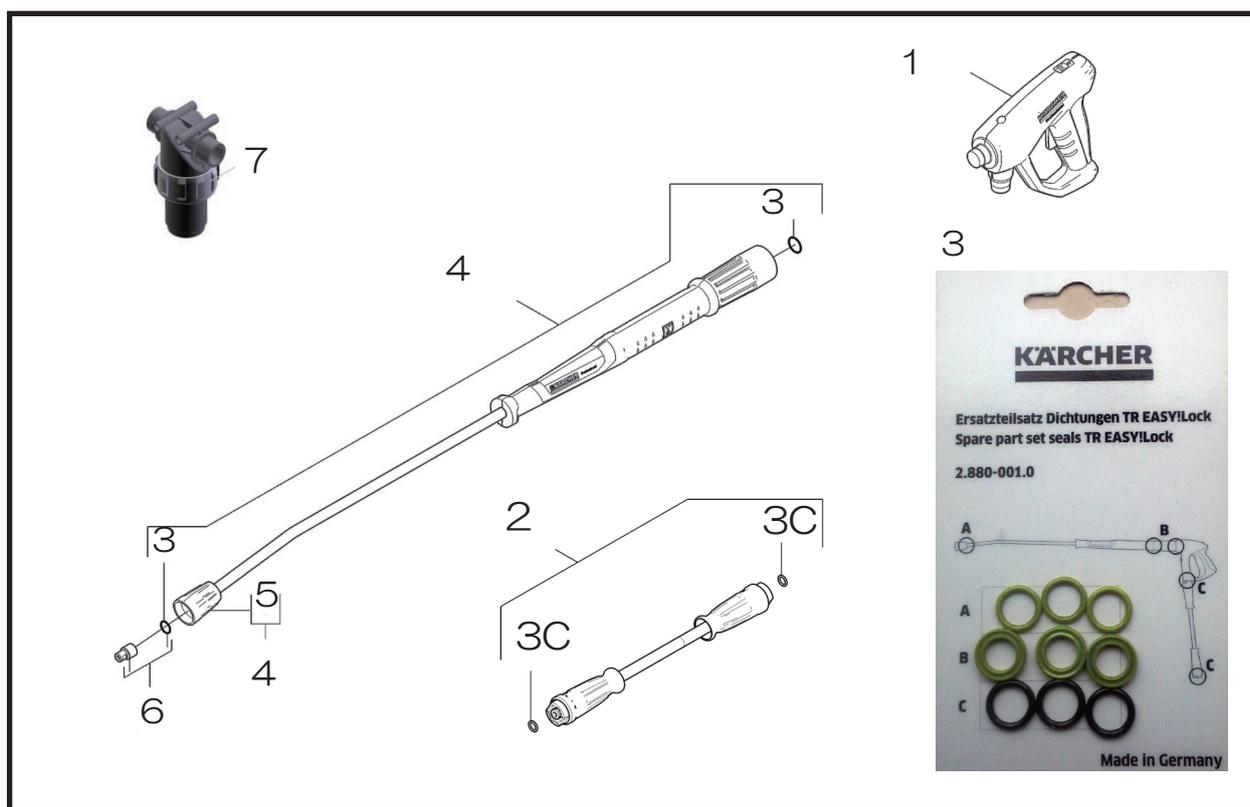
EASY!Lock 対応	アダプター注文番号	EASY!Lock 非対応のアクセサリー
<p>EASY!Lock 高圧ホースと、EASY!Lock 非対応の高圧ホースを延長する場合</p> 	 <p>4.111-029.0</p>	
<p>EASY!Lock 高圧ホースを、EASY!Lock 非対応のトリガーガン・機械に取り付ける場合</p> 	 <p>4.111-030.0</p>	
<p>EASY!Lock スプレーランスを、EASY!Lock 非対応のトリガーガンに取り付ける場合</p> 	 <p>4.111-031.0</p>	
<p>EASY!Lock トリガーガンに、EASY!Lock 非対応の高圧ホース差し込みタイプを取り付ける場合</p> 	 <p>4.111-032.0</p>	

EASY!Lock 対応	アダプター注文番号	EASY!Lock 非対応のアクセサリ
EASY!Lock トリガーガンに、EASY!Lock 非対応のスプレーランスを取り付ける場合		
		
4.111-033.0		
EASY!Lock トリガーガンもしくは機械に、EASY!Lock 非対応の高圧ホースを取り付ける場合		
		
		
4.111-034.0		
EASY!Lock アクセサリを、EASY!Lock 非対応のスプレーランスに取り付ける場合		
		
4.111-035.0		
EASY!Lock スプレーランスに、EASY!Lock 非対応のアクセサリを取り付ける場合		
		
4.111-036.0		

＜アダプターの接続方法の目安＞



## 17 補修部品



番号	名称	注文番号	
1	トリガーガン	4.118-005.0	
2	高圧ホース	6.110-034.0	
3	Oリングセット (9個組)	2.880-001.0	
3C	高圧ホース用Oリング (5個組)	2.880-990.0	
4	スプレーランス	4.112-006.0	
5	ノズルチップ固定ホルダー	4.112-011.0	
6	高圧ノズル	2.113-007.0	HD6/12G 用
		2.113-006.0	HD6/15G 用
7	給水フィルター	6.415-960.0	
	エンジンオイル	9.548-110.0	
	エンジン点火プラグ	6.491-051.0	
	エンジン用エアクリーナー	6.491-044.0	
	ポンプオイル	6.288-050.0	

■仕様変更等により商品が図と一致しない場合があります。

■部品番号は予告無く変更になる場合があります。